

高浜発電所 2 号機の定期検査開始

2026 年 1 月 21 日
関西電力株式会社

高浜発電所 2 号機（加圧水型軽水炉 定格電気出力 8 2 万 6 千キロワット、定格熱出力 2 4 4 万キロワット）において、2026 年 1 月 23 日から 7 月中旬の予定で第 29 回定期検査を実施します。

定期事業者検査を実施する主な設備は、次のとおりです。

原子炉本体
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
原子炉冷却系統施設
計測制御系統施設
放射性廃棄物の廃棄施設
放射線管理施設
原子炉格納施設
その他発電用原子炉の附属施設

以 上

（添付資料）高浜発電所 2 号機 第 29 回定期検査の概要
（別紙）高浜発電所 2 号機 第 29 回定期検査の作業工程

高浜発電所2号機 第29回定期検査の概要

1. 主要工事

(主変圧器取替工事) (図－1 参照)

主変圧器のコイル絶縁性能が経年劣化の傾向にあるため、予防保全として主変圧器を取り替えます。

2. 2次系配管の保全対策

(図－2 参照)

当社の定めた「2次系配管肉厚の管理指針」に基づき、2次系配管の869箇所(主要点検部位:110箇所、その他部位:759箇所)について超音波検査(肉厚測定)を実施します。

また、今後の保守性を考慮した部位4箇所を耐食性に優れたステンレス鋼の配管に取り替えます。

3. 蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査

蒸気発生器3台(A、B、C)のうち、B－蒸気発生器伝熱管全数※について渦流探傷検査を実施します。

※B:3,382本

4. 燃料集合体の取替計画

燃料集合体全数157体のうち57体(うち、44体は新燃料集合体)を取り替える予定です。

5. 今後の予定

原子炉起動、臨界:2026年6月中旬

調整運転開始:2026年6月下旬

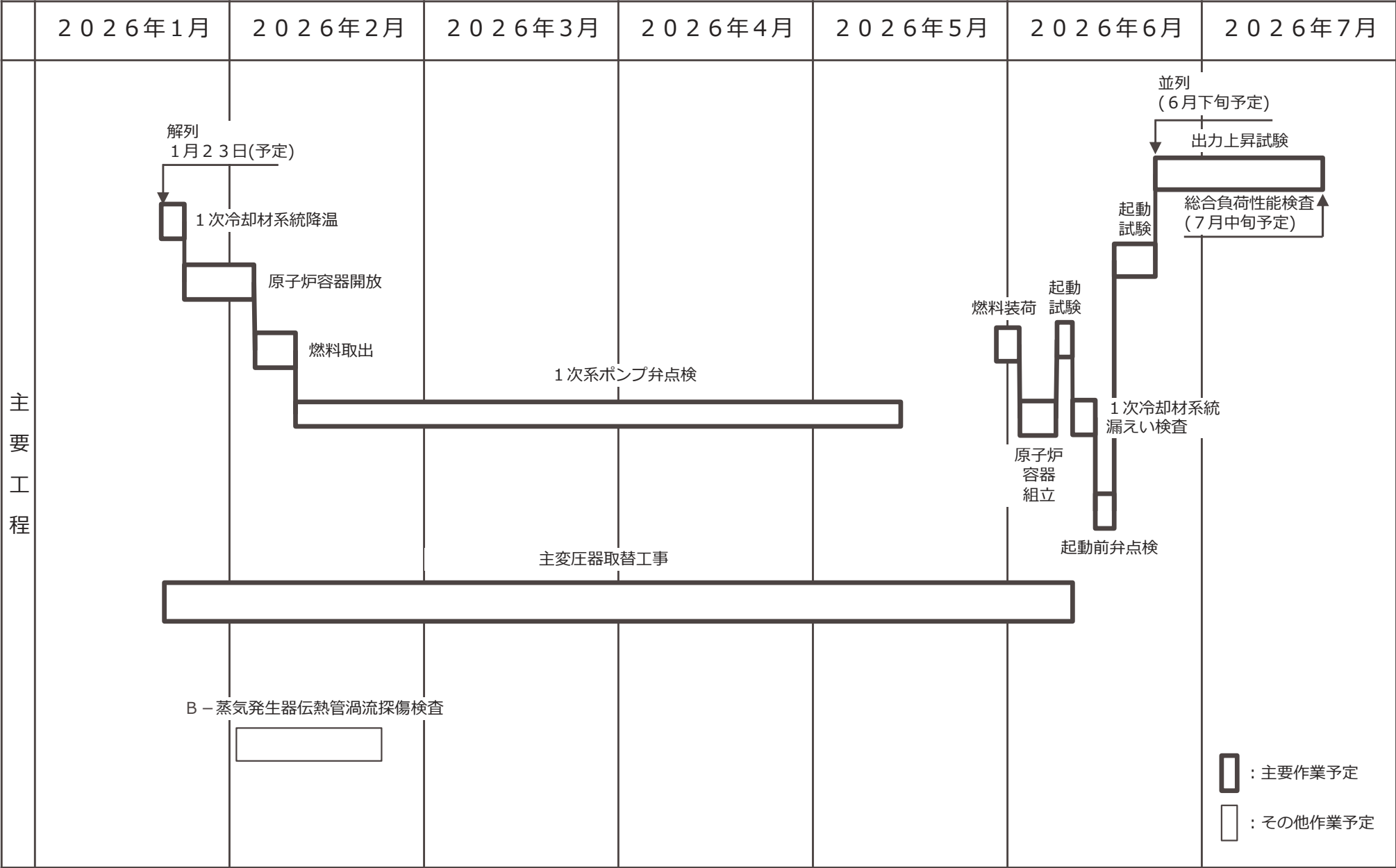
本格運転再開:2026年7月中旬

以 上

高浜発電所 2 号機 第 2 9 回定期検査の作業工程

別紙

2026 年 1 月 23 日から以下の作業工程で実施します。

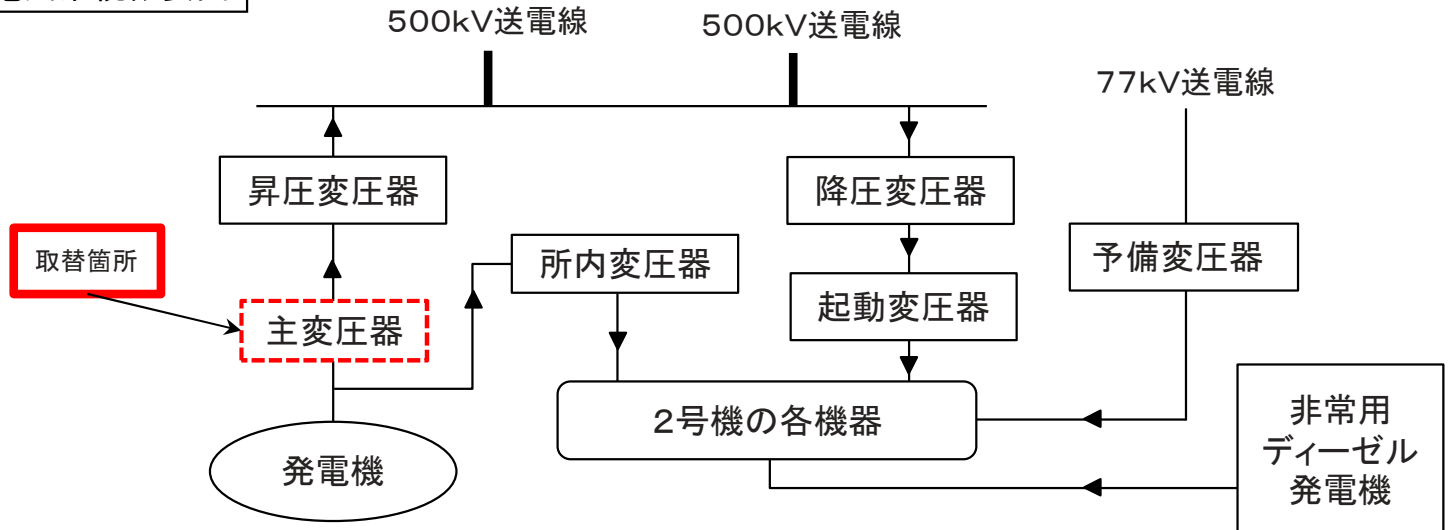


図－１ 主変圧器取替工事

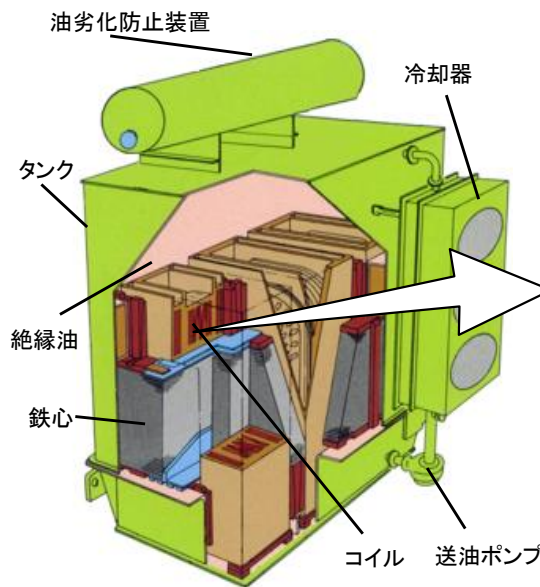
工事概要

主変圧器のコイル絶縁性能が経年劣化の傾向にあるため、予防保全として主変圧器を取り替えます。

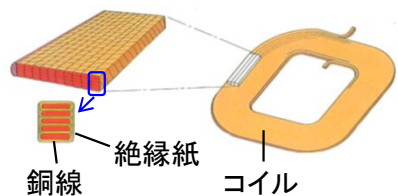
電気系統概要図



主変圧器概要図

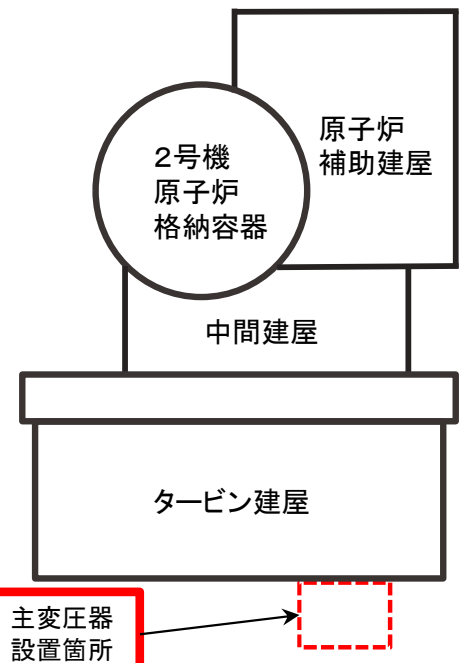


【コイルの絶縁性能の経年劣化】



コイルは、銅線数本を絶縁紙で巻き上げたもので、絶縁油が入ったタンク内にある。
絶縁紙は、長期間、変圧器運転温度の熱影響等を受けることで強度が低下（経年劣化）する。
この状態で、送電線事故等の外的要因により主変圧器コイルに電磁力が加わった場合、絶縁破壊に至る可能性がある。

主変圧器設置箇所図



| | 取替前の仕様 | 取替後の仕様 |
|----------|--------------------|--------------------|
| 定格電圧 | 高圧275.0kV／低圧22kV | 高圧262.5kV／低圧22kV |
| 定格容量 | 860MVA | 同左 |
| 外形寸法(全体) | 約14.0m×約9.3m×約9.1m | 約14.2m×約9.4m×約8.9m |

図－2 2次系配管の保全対策

点検概要

今定期検査において、合計 8 6 9 箇所について超音波検査（肉厚測定）を実施します。

○ 2 次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）

| | 「2 次系配管肉厚の管理指針」 の点検対象部位 | 今回点検実施部位 |
|--------|----------------------------|-------------|
| | | 超音波検査（肉厚測定） |
| 主要点検部位 | 1, 5 3 3 | 1 1 0 |
| その他部位 | 8 1 2 | 7 5 9 |
| 合計 | 2, 3 4 5 | 8 6 9 |

交換概要

今定期検査において、合計 4 箇所について配管の取替えを実施します。

| 交換理由 | 交換前 | 交換後 | 箇所 | 計 |
|--------------------|-----|--------|----|---|
| 今後の保守性を考慮して取り替える箇所 | 炭素鋼 | ステンレス鋼 | 4 | 4 |

[合計 4箇所]

<系統別概要図>

